

そよかぜだより

2017 3月号

三月(弥生)

三月に入り少しずつ暖かくなってきました。この季節は、花粉が気になる方も多いのではないのでしょうか。花粉症対策はセルフケアが大切になります。外出時はマスク、メガネ、帽子を着用し、花粉が付着しやすい素材の服は避けましょう。そして、家に入る前には衣類や髪に付いた花粉をはたき落としましょう。室内での飛散を防ぐには、湿度を上げる効果的です。花粉は湿気を多く含む重なり落下するので、空中での浮遊を防ぐことができます。

また、この時期は卒業式の季節でもあり、寂しい季節でもあります。4月からの新しい生活に胸膨らむ人も多いことでしょう。何かと生活も不規則にならざるがちな季節でもあります。

健康には留意していただくと。



新しい先生のご紹介

3月8日より毎週水曜日に、新しく大学病院から葛森麻衣先生がいらっしゃいますので、よろしくをお願いします。

葛森先生からのご挨拶

日本大学松戸歯学部附属病院の歯周科に勤めています。葛森麻衣と申します。今月からこちらで働かせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

第一大臼歯と前歯部の交換期について

今回は第一大臼歯と前歯部の交換期についてお話します。学童期に入ると第一大臼歯の萌出から、全乳歯の永久歯への交換が始まります。

六歳前後になると、最初に乳歯から永久歯へと交換が始まるのは、下顎中切歯(中心の二本)です。下顎前歯の永久歯は、生えている乳歯の後ろ(舌側)から萌出てきます。その為、一時的に乳歯と永久歯が重なる形となりますが、その後乳歯が永久歯に押されるように抜け落ちると、舌圧(舌で押す力)により舌側に出てきていた永久歯が押されて唇側に移動します。

下顎の中切歯への交換が始まるのと同じ頃、第一大臼歯の萌出も始まります。第一大臼歯は六歳になる頃に萌出てくるので六歳臼歯とも呼ばれています。第一大臼歯は第二乳臼歯(一番奥の乳歯)の後ろから歯肉を突き破って萌出てくるため、萌出時に痛みを感じる場合もあります。

第一大臼歯の萌出が始まった後、今度は上顎中切歯(中心の二本)への交換が始まります。上顎前歯の永久歯は、乳歯の根を吸収し、乳歯が抜けた後に唇側に萌出てきます。最初は中心に隙間が開いているように出てきますが、その後、側切歯(西隣の歯)や犬歯が永久歯へと生え変わるにつれて中心に移動してくるので、開いていた隙間はだんだんと閉じていきます。

萌出し始めの永久歯は、他の歯に比べて背が低い為、歯磨きがしにくい、むし歯になりやすい時期でもあります。特に、第一大臼歯は生えてきたばかりの頃はまだ歯肉が被っている部分があるので、食べかすなどの汚れが溜まりやすいこと、汚れが溜まってしまっても乳歯の後ろから生えてくるため、歯ブラシの毛先が届きにくいことでもむし歯が発生しやすいので注意が必要です。

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>

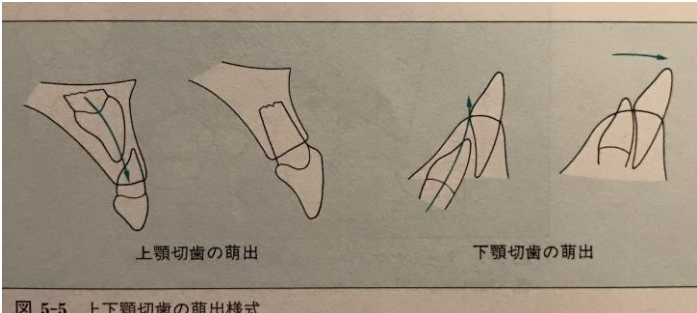


図 5-5 上下顎切歯の萌出様式
「新歯科衛生士教本小児歯科学」より参照

春分の日とは

春分は、昼と夜が同じ長さになる日です。

「自然を称え、将来のために努力する日」とも言われており、昔の人は自然に感謝し、春を祝福する日だと感じていたようです。

そして、長い冬の間冬眠していた動物たちが動き始め、人々もやる気に満ち溢れる時期でもあるそうです。

また、この日の前後にご先祖様へ感謝の気持ちを伝えるためにお墓参りに行く習慣もあるそうです。



院長より

今回は、第一大臼歯と前歯部の歯の交換期についてお伝えしました。学童期に入り、歯が生え代わるわけですが、生え代わった直後の歯はエナメル質が幼弱なために、むし歯になりやすいことが挙げられます。そのほかに外傷より歯が割れたり、ひびが入ったり、ひどい場合には歯そのものが脱落するケースもあります。このような場合には、歯科医院にてできるだけ早く受診することをお勧めします。特に脱臼した場合には、脱落した歯を専用の液剤に入れること、ない場合には牛乳やスポーツ飲料、あるいは水に入れ、歯科医院を受診してください。脱臼脱落してからの時間により短ければもとに戻るケースも少なくないです。このような場合、受傷してから歯を戻すまでの時間が短ければ短いほど、元通りの状態の確率が高くなります。

このように、学童期は外傷によって歯科医院に受診するものがほかの年代より多いですが、成人でも対処としては同じです。前途に記した事項は頭に入れておいてください。